

FC岐阜クラブアンバサダーの紹介

元日本代表選手で2023シーズン限りで現役を引退し、FC岐阜クラブアンバサダーに就任した2人をご紹介します。

かしわぎ ようすけ
柏木 陽介

FC岐阜クラブ・アンバサダー

役職
バリュー アクセラレーター
Value Accelerator



写真：©FC GIFU

3年間のFC岐阜の選手在籍中にチームが昇格出来なかった悔しさと、本当にお世話になった感謝を、自分としてどのような形でいつ岐阜にお返し出来るか考えていました。昇格できなかった悔しさと感謝の想いが柏木を新たなステップへの挑戦に駆り立ててくれたと思っています。

プロ選手生活18年間で選手としてまだ出来ると思ったが、チーム内に残るよりも、自分の強みでもある知名度を活かして、チーム外との関係の強化拡大に貢献したいと考えました。具体的には、サッカーを指導するというよりサッカーの楽しさと魅力を語り伝えてFC岐阜サッカースクールを一杯にしたり、応援して下さるファンを着実に増やすイベントを行ったり、FC岐阜をJ1までサポートする喜びを共有できるパートナー企業の皆様を増やすことに専念していきます。また岐阜とFC岐阜を日本中と世界に発信するように、今シーズン『鶴飼の船頭』としてもデビューしようと現在資格取得の特訓中です。

クラブの一層の発展に資する活動で、この大好きになったFC岐阜と岐阜に恩返ししていきます。

たなか じゅんや
田中 順也

FC岐阜クラブ・アンバサダー

役職
テクニカル ジュブナイル コーチ
Technical Juvenile Coach
略称 T.J Coach



写真：©Kaz Photography/FC GIFU

プロ選手生活14年間でJ1、J2優勝、天皇杯優勝2回、ナビスコカップ優勝などたくさんのチームタイトルを獲得してきました。日本中ではもとより、スポルティングリスボン（ポルトガル）に在籍し、ヨーロッパ各国の大勢のサッカー仲間たちとプレーしたことで、たくさんの出会いと経験がで

きたことはサッカー人生において素晴らしい一生の財産です。

この経験を通じて得られたことを、最後にお世話になって家族みんなが大変気に入っている岐阜で子どもたちに伝え、多くのJリーガーを育てて行きたいと考えました。Jリーガーになるには勿論、基本は熟知した上で、自分の強みを築きどんなプレーヤーになりたいかを夢見て日々の練習を積み上げることが重要です。自身はロングシュートやダイナミックなシュート、精度の高いシュートが武器でした。何が強みの選手になりたいかセルフブランディングの大切さも伝えていきたいです。一芸に秀でる指導を通じて、FC岐阜アカデミー出身者はJリーグでも、企業でも社会でも素晴らしい人材と言われるように、人格形成に資する指導を実践して行こうと決意しています。